

D | AM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ ＜米ドルコース＞

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債に実質的な投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年10月6日～2023年4月5日

| | | |
|-----------------------|----------------|--------|
| 第122期 | 決算日：2022年11月7日 | |
| 第123期 | 決算日：2022年12月5日 | |
| 第124期 | 決算日：2023年1月5日 | |
| 第125期 | 決算日：2023年2月6日 | |
| 第126期 | 決算日：2023年3月6日 | |
| 第127期 | 決算日：2023年4月5日 | |
| 第127期末 (2023年4月5日) | 基準価額 | 7,194円 |
| | 純資産総額 | 46百万円 |
| 第122期～ 第127期 | 騰落率 | △0.4% |
| | 分配金合計 | 150円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

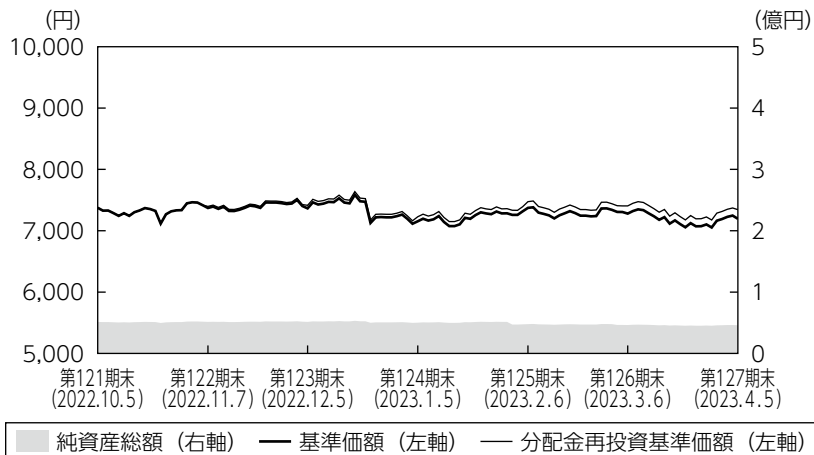
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第122期首：7,375円
 第127期末：7,194円
 (既払分配金150円)
 騰落率：△0.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

新興国債券市場が上昇したものの、為替市場において米ドル/円相場が米ドル安円高となったことや、信託報酬がマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|------------------------------|-------|
| ケイマン エマージングソブリンファンドクラス (USD) | 0.3% |
| D I AMマネーマザーファンド | △0.0% |

(注) ケイマン エマージングソブリンファンドクラス (USD) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第122期～第127期 (2022年10月6日 ～2023年4月5日) | | 項目の概要 |
|---------------------|---|------------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| | (a) 信託報酬 | 42円 | |
| (投信会社) | (17) | (0.230) | |
| (販売会社) | (24) | (0.328) | |
| (受託会社) | (1) | (0.016) | |
| (b) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 42 | 0.575 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

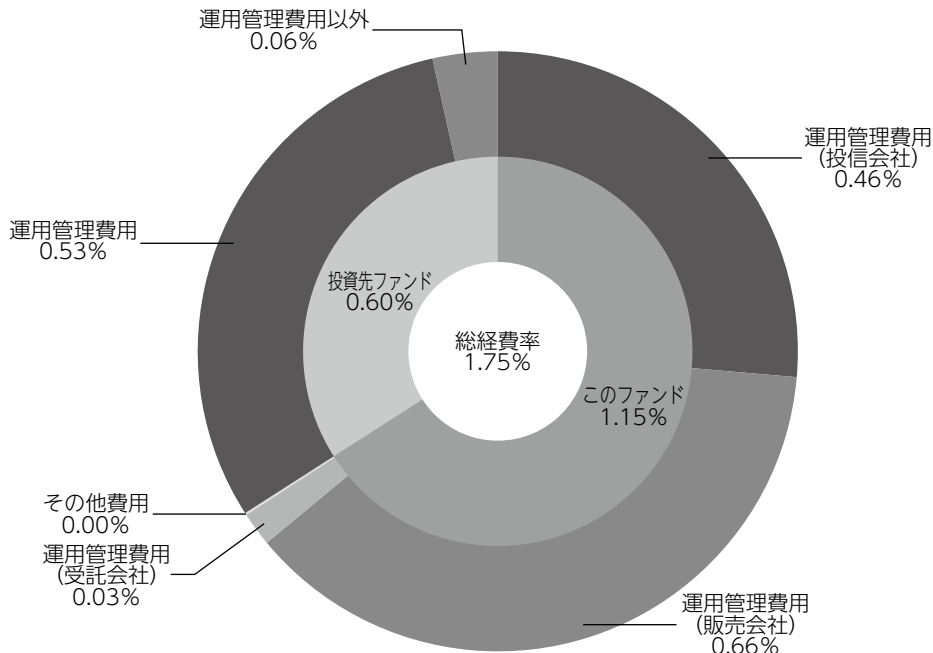
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率 (①+②+③) | 1.75% |
| ①このファンドの費用の比率 | 1.15% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.53% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.06% |

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

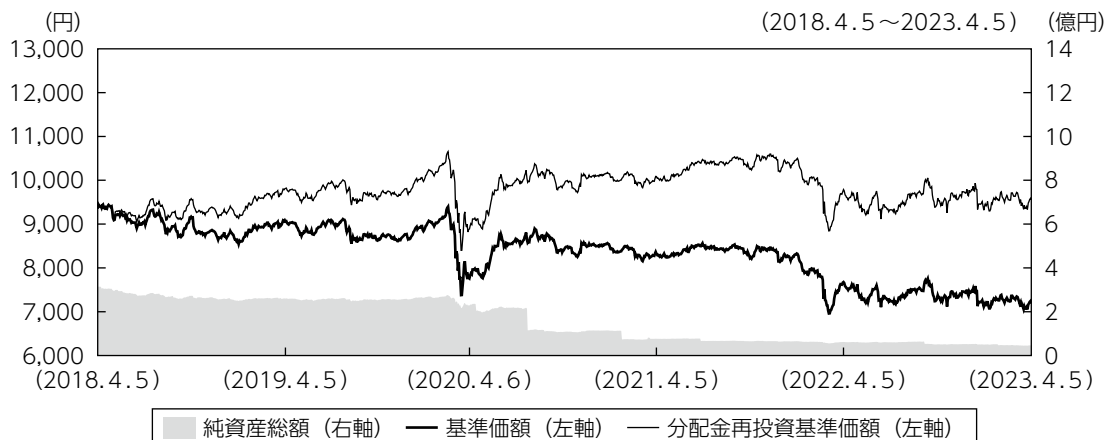
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2018年4月5日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | | 2018年4月5日 期首 | 2019年4月5日 決算日 | 2020年4月6日 決算日 | 2021年4月5日 決算日 | 2022年4月5日 決算日 | 2023年4月5日 決算日 |
|----------------|-------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) | 9,352 | 9,057 | 7,768 | 8,326 | 7,677 | 7,194 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) | — | 720 | 480 | 480 | 420 | 300 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | 4.9 | △9.4 | 13.4 | △3.0 | △2.4 |
| 純資産総額 | (百万円) | 309 | 259 | 228 | 76 | 61 | 46 |

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

当作成期の新興国債券市場は上昇しました。作成期前半は、米インフレの鈍化を受けて、F R B（米連邦準備理事会）が金融引き締め策を減速させるとの観測が広がったことなどが好感され、新興国債券市場は堅調に推移しました。しかし、その後、F R Bがタカ派姿勢を維持したことや米中堅銀行の経営破綻に端を発した世界的な信用不安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、上昇幅を縮小させました。

米ドル/円相場は、米ドル安円高となりました。F R Bが金融引き締めを減速させるとの期待感や日本の金融当局が為替介入を実施したことにより、米ドルは対円で下落しました。更に、日銀が10年国債利回りの上限を0.25%から0.5%に修正し、日米金利差が縮小したことなども下落要因となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（U S D）の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（U S D）

当作成期の組入れ状況について、地域別では、アフリカ、中南米の比率をオーバーウェイト、欧州、アジア（主に中東）の比率をアンダーウェイトとしました。国別では、ブラジル、メキシコのウェイトを引き下げた一方、U A E（アラブ首長国連邦）、パナマなどのウェイトを引き上げました。サウジアラビア、中国については非保有となっています。

●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 第122期 | 第123期 | 第124期 | 第125期 | 第126期 | 第127期 |
|------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 2022年10月6日 ~2022年11月7日 | 2022年11月8日 ~2022年12月5日 | 2022年12月6日 ~2023年1月5日 | 2023年1月6日 ~2023年2月6日 | 2023年2月7日 ~2023年3月6日 | 2023年3月7日 ~2023年4月5日 |
| 当期分配金（税引前） | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 |
| 対基準価額比率 | 0.34% | 0.34% | 0.35% | 0.34% | 0.34% | 0.35% |
| 当期の収益 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 | 25円 |
| 当期の収益以外 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 | -円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,926円 | 2,929円 | 2,932円 | 2,941円 | 2,945円 | 2,948円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD) を高位に組入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。また、D I A M マネーマザーファンドへの投資も行います。

●ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD)

世界的なインフレ鈍化と中国のゼロコロナ政策の転換により新興国資産の見通しが改善しています。外貨準備、政治的な安定および効率的に政策を行う新興国を中心に中期的に先進国市場と比較して優位な資産となると見えています。投資戦略はサウジアラビア、中国をアンダーウェイト、オマーン、メキシコをオーバーウェイトとします。地域配分では中南米、アフリカをオーバーウェイト、アジア（主に中東）、欧州をアンダーウェイトといたします。

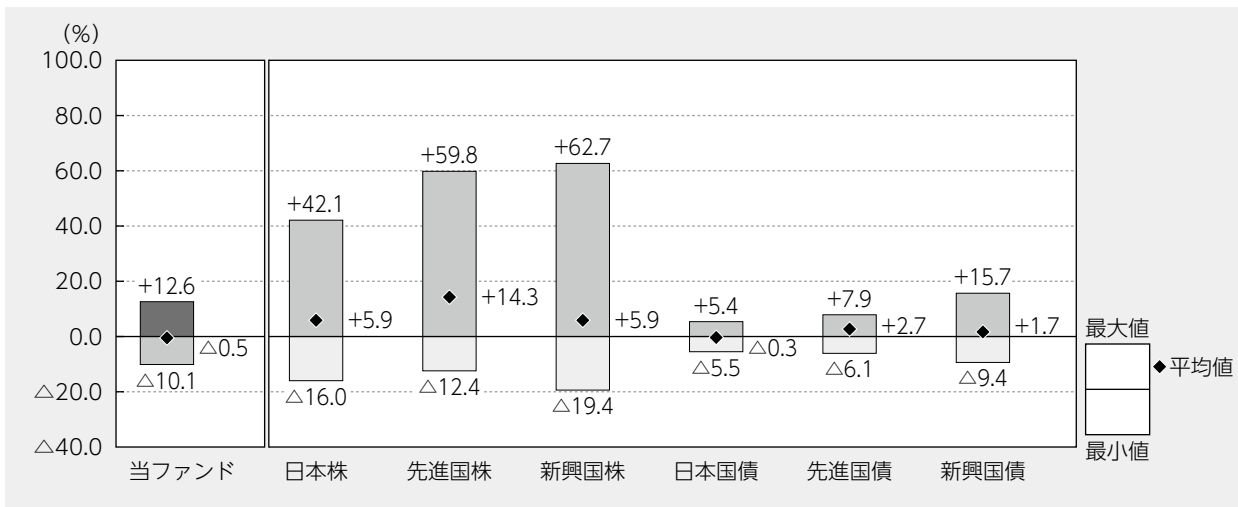
●D I A M マネーマザーファンド

2023年4月9日に黒田日銀総裁の後任として植田和男氏が日銀総裁に就任しますが、新体制発足後も急速な金融引き締めは見込みにくく、金融政策は緩和的な状態を維持するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 2012年7月27日から2024年10月29日までです。 |
| 運用方針 | 信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 主として円建ての外国投資信託である「ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 |
| 運用方法 | 主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債（国債および政府機関債等 ^(*) ）に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案し決定します。 （*）各国政府および政府関係機関が発行する債券であるソブリン債、または政府が出資している企業や政府保証が付いた債券である準ソブリン債を含みます。 |
| 分配方針 | 決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準を勘案し、前記分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2018年4月～2023年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2023年4月5日現在)

◆組入ファンド等

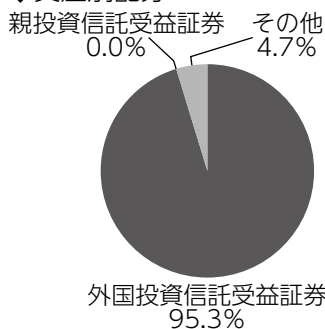
(組入ファンド数：2ファンド)

| | 第127期末 |
|---------------------------------|-----------|
| | 2023年4月5日 |
| ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD) | 95.3% |
| DIAMマネーマザーファンド | 0.0 |
| その他 | 4.7 |

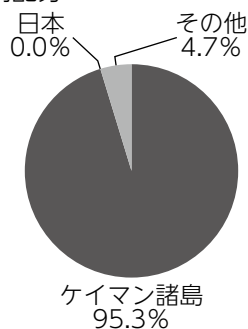
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

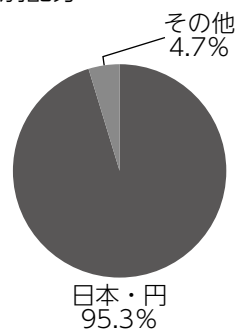
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

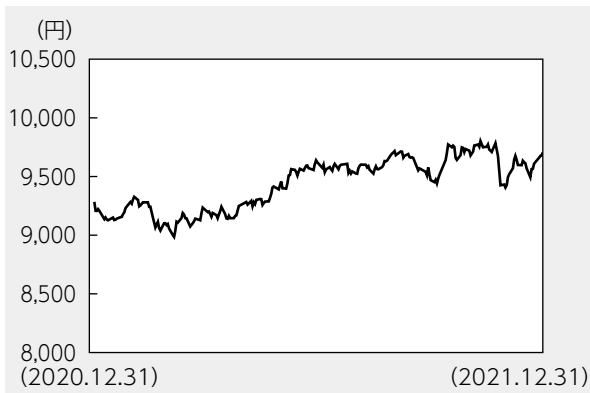
| 項目 | 第122期末 | 第123期末 | 第124期末 | 第125期末 | 第126期末 | 第127期末 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 2022年11月7日 | 2022年12月5日 | 2023年1月5日 | 2023年2月6日 | 2023年3月6日 | 2023年4月5日 |
| 純資産総額 | 51,383,912円 | 51,484,362円 | 50,159,324円 | 47,770,578円 | 46,335,643円 | 46,007,589円 |
| 受益権総口数 | 69,708,291口 | 69,906,803口 | 70,107,281口 | 64,800,255口 | 63,650,018口 | 63,953,450口 |
| 1万口当たり基準価額 | 7,371円 | 7,365円 | 7,155円 | 7,372円 | 7,280円 | 7,194円 |

(注) 当作成期間 (第122期～第127期) 中における追加設定元本額は2,132,973円、同解約元本額は7,620,100円です。

組入ファンドの概要

[ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD)] (計算期間 2021年1月1日~2021年12月31日)

◆基準価額の推移



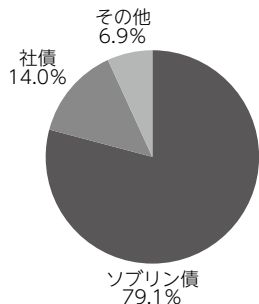
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|--------------------------------------|---------|------|
| RUSSIA-EUROBOND 5.63% 04/04/42 | アメリカ・ドル | 6.4% |
| UNITED MEXICAN 4.60% 01/23/46 | アメリカ・ドル | 5.0 |
| INDONESIA (REP) 6.63% 02/17/37 REGS | アメリカ・ドル | 5.0 |
| BRAZIL REP OF 5.00% 01/27/45 | アメリカ・ドル | 3.9 |
| UNITED MEXICAN 4.75% 03/08/44 | アメリカ・ドル | 3.5 |
| UKRAINE GOVT 9.750% 11/01/28 REGS | アメリカ・ドル | 3.2 |
| COLOMBIA REP OF 5.000% 06/15/45 | アメリカ・ドル | 3.2 |
| TURKEY REP OF 4.25% 04/14/26 | アメリカ・ドル | 3.2 |
| INDONESIA (REP) 4.750% 07/18/47 REGS | アメリカ・ドル | 3.2 |
| ARGENTINA 0.125% 01/09/38 | アメリカ・ドル | 3.0 |
| 組入銘柄数 | 68銘柄 | |

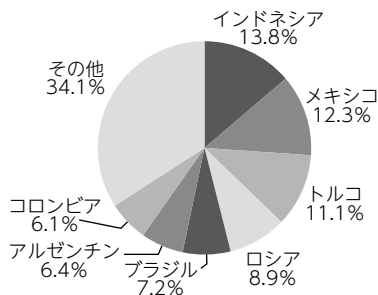
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

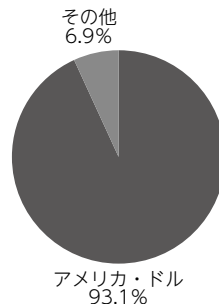
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したのとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ケイマン エマージング ソブリン ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はケイマン エマージング ソブリン ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

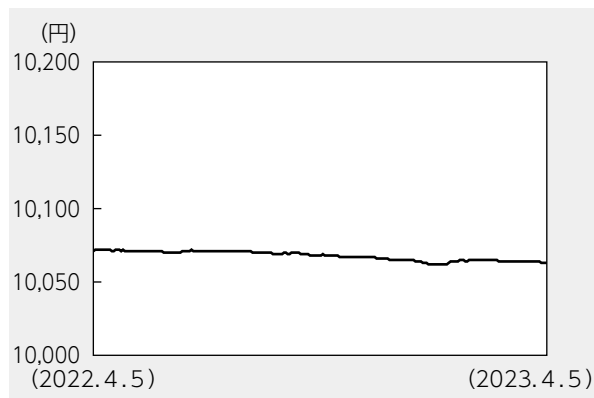
(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Bank(USA)のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2022年4月6日～2023年4月5日）

◆基準価額の推移



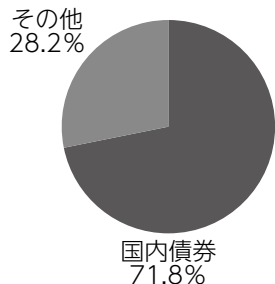
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|--------------------|------|-------|
| 4 2 9回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 16.0% |
| 4 2 7回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 16.0 |
| 4 2 6回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 16.0 |
| 4 2 4回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 16.0 |
| 4 3 0回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 8.0 |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 組入銘柄数 | 5銘柄 | |

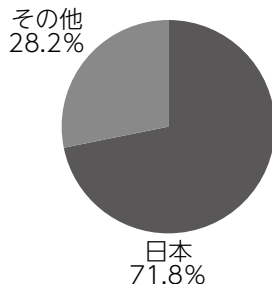
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

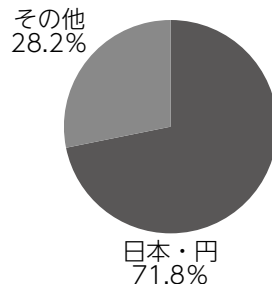
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

